

# 小中及び高等学校における キャリア支援員配置事業の提案

～子どもたちが希望を持って将来を思い描ける社会を目指して～

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 博士課程

田中 裕樹

## 概要

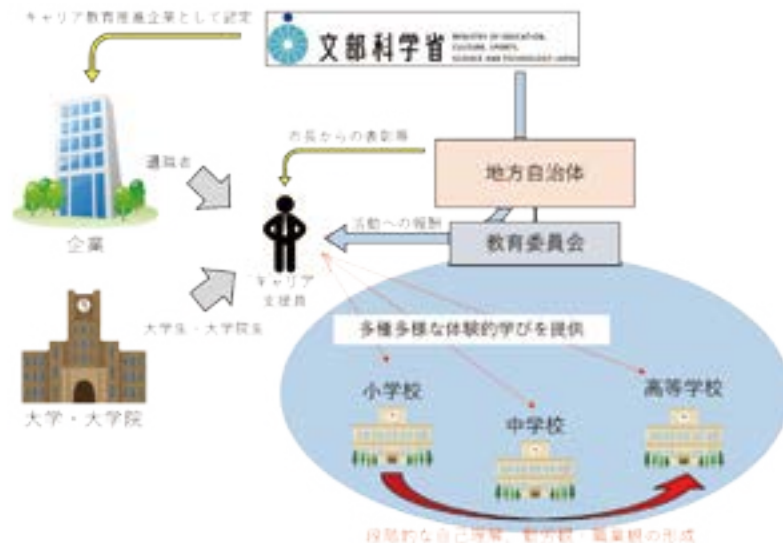
- 様々な要因によって、若者を進路選択をめぐる環境が目まぐるしく変化し、これまで以上に自身の将来を思い描くことが困難となっていることが、近年職業観・勤労観の形成が学校教育において重要視されている要因である。
- 多種多様な人々が学校教育に参加し、子どもたちと交流することは多様なキャリアモデルを示すことに繋がると期待される。
- キャリア支援員として退職者や大学・大学院生を小中及び高等学校に配置し、継続的な体験活動の実施する等により、生徒の自己理解を促進し、将来について深く考える機会を増やす。

## 実現すべきビジョン

- 生徒が早期に将来像を確立或いは自身の将来について深く考え、短期的な学習目標のみに縛られることなく、自己実現に向けて意欲的・継続的に学習できる社会を目指す。
- キャリア・進路選択の岐路に立たされた際、他に流されず各々が主体的に選択し、人生を通して学び続けられる素養を培う。

## 提言の具体的内容

- 専門性を持った退職者や大学・大学院生を小中及び高等学校に配置し、現場職員へ負担をあまりかけない形で一過性でない、多様性に溢れた体験的学びの機会を提供する。
- 生徒自身が得意なこと、好きなことを発見・自覚する機会、将来について考える機会が増やすための新たな枠組み。



## 提言先

- 文部科学省
- 地方自治体
- 教育委員会